

(様式第9号)

# 情報公開用文書

「腹腔鏡下大腸手術における腹直筋鞘ブロックによる術後疼痛戦略の妥当性」について

- 1, 研究（調査）の目的と概略  
腹腔鏡下結腸・直腸切除術を受けられた患者様の術後疼痛制御方法とその術後経過について後方視的に解析することで、安全で有用な術後疼痛管理方法について検討することを目的とします。
- 2, 研究（調査）の方法  
遠隔転移のない結腸・直腸腫瘍または結腸・直腸良性疾患の診断の下、腹腔鏡下結腸切除または直腸切除を施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、解析結果は学会での演題発表や論文誌上などで発表させていただく予定です。
- 3, 研究（調査）の参加施設  
当院のみ
- 4, 調査期間  
調査期間 2018年1月1日から2019年11月30日まで
- 5, 調査の対象となる患者様  
本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、遠隔転移のない結腸・直腸腫瘍または結腸・直腸良性疾患の診断の下、腹腔鏡下結腸切除または直腸切除を施行された患者様です。
- 6, この研究への協力は任意です  
本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれているもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。
- 7, お問い合わせ先

研究責任者：徳島県立中央病院 外科 医員 太田 昇吾

Tel: 088-631-7151